

ずいそう

囲碁とサッカー

亀川 和正



若い頃は体を動かす趣味が多かったのですが、最近ではゴルフの他は囲碁とサッカー観戦が楽しみになってきました。私の碁はいつも大風呂敷を拵げ、盤面上で切った張ったと激しい戦いをしています。ご存じのように囲碁の世界では男女全く平等で年齢制限もありません。若くて綺麗な女性プロが増えてきて囲碁解説とくに活躍されています。一般的に女性の碁は激しいのが特徴のようです。この世界でも女性が強くなってくると男としては辛いものがありますが、幸いにもまだ男性棋士と対等には打っていません。やはり頭の構造が若干違うのでしょうか。ハーバード大学の学長が女性は科学者に向かないと云って非難をされていましたが、男が優秀であると言っているわけではなく、それぞれの持ち場があるのでしょうか。勿論例外な人はいるのでしょうか。

囲碁は頭脳のスポーツと云われており、目下オリンピックの正式種目になる運動も展開されているようです。白黒の石を交互に盤面に並べるだけの簡単なゲームですが「神様が暇つぶしに創ったゲーム」と云われており、その奥の深さはまさに深奥幽玄の世界です。

日本棋院の努力のおかげで世界中に囲碁ファンが増加中ですが、やはり現在のレベルで見ると日本、韓国、中国が3強で飛び抜けています。特に韓国は各種の世界戦で好成績を上げていて日本は中国にもやや分が悪い状況です。インターネット囲碁の普及で世界中どこでも囲碁が打てるようになりました。世界の隅々まで普及が図られたら本当の囲碁ワールドカップが開催されるようになってくると思います。個人戦も団体戦もあり、男女で交互に打つペア碁もありますから楽しみです。

また、ワールドカップといえばやはりサッカーです。サッカーも囲碁と同じで非常にシンプルなゲームですが各国の個性とチームカラーが出る不思議なゲームです。もうすぐドイツ・ワールドカップが始まりますが、Samurai Blueのユニフォームがドイツのピッチで躍動するのを楽しみにしています。球技の世界で日本が世界でトップに立つのは非常に難しいと思います。野球、バレーボール、バスケット、ラグビーなど種々のスポーツにおいて平均的な日本人の体格、筋力等から

見てやはり分が悪いと感じますが、サッカーに関してはこのハンディーを克服することが可能ではないかと思っています。

つまり、サッカーは個々人の能力よりもチームとしてのコンビネーション、意思疎通能力等がものを言う世界ではないかと思っているからです。日本人が持っている和の心に通じ、高度成長を可能にした気質にぴったりのスポーツと言えます。これに得点力が上がれば鬼に金棒となるのですが、なかなかフォワードに良いのが育ってこない所に問題があります。日本サッカーの課題はいつも得点力です。日本人フォワードの欠点はゴールに対する執念と言うか、我が儘度（エゴ度）が足りないことだと思います。これも農耕民族の悲しさか、和の精神が邪魔をしてフォワードとしての闘争心が弱いからでしょうか。でも日本社会もアメリカナイズしてフリーな競争社会が幸せだと勘違いしたのか、和の精神（談合）を破壊してきました。次の世代では優秀なフォワードが出てきそうですがコンビネーションが崩れる恐れもあります。

我々団塊の世代が子供の頃は、長島や王に憧れ野球一色でした。身近にサッカーの情報も無く、手が自由に動かせるのに何で手が使えないスポーツなのかと疑問に思っておりました。周囲にサッカー少年もおらず全然興味のないスポーツでありました。サッカーの面白さで最初に感動したのはイタリア大会でマラドーナが左足1本で5人抜きをしたシーンです。当時はエジプトで製鉄所建設工事に従事していたのですがアラビア語のTVを見ていても、対イングランド戦での彼のプレーを見たときは本当にびっくりし、なんとファンタスティックなプレーだろうと驚嘆の声を上げたことを覚えています。

日本のサッカーもレベルが上がりましたが、囲碁以上に世界一になるのは難しいと思っています。でも、ジーコジャパンが黄金の「ワールドカップ」を手にするのも夢ではありません。切符も予約できたし早く飛行機の切符を買いに行こう。問題は会社が休みをくれるかどうか……。